

子どものトイトレ・
障がいのある方
向け

導入事例

Case studies



DFree導入でトイレを後押し！ 発達障害のある娘の一步一步をサポート

★ 利用者情報

Iさん 女性(3歳)

ADHD/軽度知的障害、知的障害

通っている学校：保育園

利用している福祉サービス：児童発達支援

障害の程度：運動面での障害は無し/基本的なコミュニケーションができる

始めたばかりのトイレトレーニングの新たなサポートとしてDFreeを選んだ

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

ちょうどトイレトレーニングを始めたタイミングで、周りの同級生が次々にトイレを卒業し始めており、そろそろ我が家も...と考えていました。そんな中、妻がInstagramで同じ発達障害を持つ子どもを育てるフォロワーの投稿を見て、DFreeを試してみることにしました。

無料でお試しできる点が導入の大きなきっかけとなりました。



DFreeの装着にも慣れてきてニコリ

★ その時は何に困っていたんですか？

娘は基本的な意思疎通はできるものの、発達障害による言葉の遅れがあり、「トイレに行きたい」という意思表示がほとんどありませんでした。トイレトレーニングを始めたものの、**トイレでの成功率はほぼゼロ**で、連れて行っても既にオムツで排尿してしまうことが多かったです。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

時間を決めてトイレに誘導したり、ご褒美シールを使ったりしましたが、**タイミングが合わず効果はあまり感じられませんでした**。また、布パンツも試しましたが、娘は濡れても気にならない様子だったため、これも効果がありませんでした。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

最も心配だったのは、娘がデバイスを装着してくれるかどうかでした。まずはスポット尿測定から試し、様子を見ながら進めました。**無料で試せたことが大きな後押しとなり、介助者としてもモチベーションが上がりました**。

DFreeの導入は、介助者にとってもトイレトレーニングの良いモチベーションになった

★ 最初にDFreeを装着した時のご様子はいかがでしたか？

最初はスポット尿測定を試し、翌日から装着しました。娘もデバイスの存在を気にしている様子でしたが、**すぐに慣れて問題なく装着してくれました**。デバイスが動かないように、テープを使ってしっかりと固定しました。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

DFreeを使うことで、**トイレに行くべきタイミングを把握できるようになりました。** 自宅で過ごしている時は通知を見て、娘をトイレに誘導することができます。親にとってもトイレトレーニングに対する良いプレッシャーとなり、**親が積極的に取り組むきっかけにもなりました。**



固定用テープでしっかりとお腹に固定できます

今後の目標: 4歳に向けてトイレトレーニングの成功を目指して

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

今月で娘は4歳になります。4歳の前半までに何度かトイレトレーニングが成功してくれると嬉しいです。**娘のペースを大切にしながら、一步一步トイレトレーニングを進めていきたいと思っています。** また、トイレの感覚を覚え、娘自身が「トイレに行きたい」と意思表示できるようになることを期待しています。デバイスを活用しつつ、家族で一緒に取り組んでいけたらと思います。



お子さんのペースに合わせて
トイレトレーニングを進めることができます

DFreeを活用してトイレのタイミングを把握しているIさん。娘さんが「トイレに行きたい!」と伝えられるようになる日を、DFreeも一緒に応援しています!



DFreeで初めてのトイレトレーニング! 半日以上オムツを替えずに過ごせる日も!

★ 利用者情報

Sさん 女性(3歳)

福山型筋ジストロフィー/肢体不自由

通っている学校：未就学

利用している福祉サービス：児童発達支援、訪問看護

障害の程度：体幹機能障がい(肢体不自由)/発語なし

初めてのトイレトレーニングにDFreeをお試し

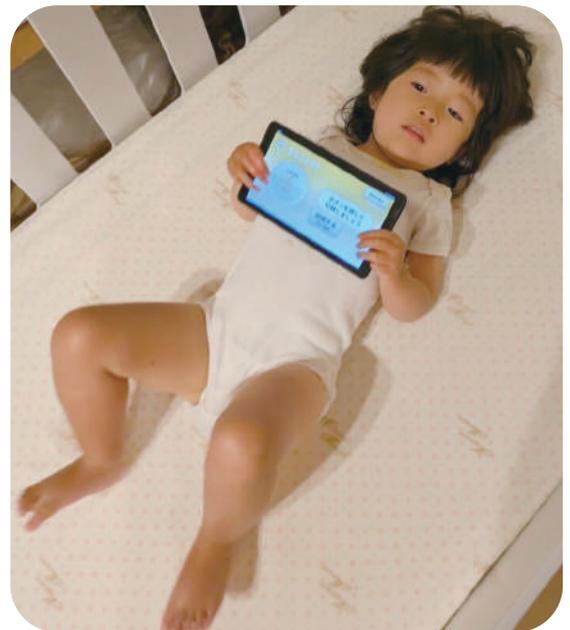
★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか?

基本的には全部オムツ排尿でした。週に3回浣腸をしていて、その時は浣腸してからトイレに座らせていたので、便と一緒に排尿することもありました。

一般的な3歳児でもトイレトレーニングが完了していない子はいますし、本人の意思表示が出てくるまでは難しいかなと思っていたので、そんなに積極的にトイレに連れて行ったりはしていませんでした。今は下の子どもの育児もしているので、もう少し自分に余裕ができたなら、トイレ誘導をしていけたらなと思っていたところでした。

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか?

子どものための医療機器展「キッズフェスタ」にDFreeが出展していたことをきっかけに、DFreeのインスタグラムをフォローしていました。投稿の中で、尿のたまり具合がわかる機械なんだと知って「使えるかもしれない」と感じ、試してみることにしました。



DFreeがトイレのタイミングを知らせてくれます

児童発達支援センターでもDFreeを使用

★ DFreeをどのように使用していますか?

3歳で身体が小さいので、付属のシートは少し大きく感じて、使っていません。代わりに市販の医療用テープで止めています。トイレでうっかり落としたりするのが心配だったのですが、十字にテープを貼るだけでしっかり固定できるので安心です。

★ DFreeを使用してみて、どのような成果が得られましたか?

DFreeをつけて、通知を元にトイレに連れて行ったら**トイレで排尿で**



児童発達支援センターでもDFreeを活用

きたので、驚きました。半日以上オムツを替えなかった日もあるんですよ。「これはすごいな」と、感動しました!うちの場合はオムツの補助金もまだ出ないので、オムツの使用枚数が減ることも助かりますね。

児童発達支援センターでもDFreeを使用しています。先日、児童発達支援センターでも初めてトイレで排尿ができました!スタッフの皆さんも、「これでトイレトレーニングができるね!」と喜んでくださいました。

外出時にトイレを探すストレスが軽減した!

★ DFreeを活用してみて、生活にどのような変化がありましたか?

外出先では小児用便座に座ったりはしてなくて、**オムツ交換のタイミングを図るために**使用しています。

3歳になり身体が大きくなってきてベビーベッドでのオムツ替えが難しくなってきたのですが、障害者向けのオムツ替えシートである「ユニバーサルベッド」がある施設は本当に少ないんです。

多目的トイレに入っても、ユニバーサルベッドがあるところってほとんどないですよ。なので外出中に常にトイレを探していて、あったらとりあえず行ってみる、という状態だったんですよ。その機会

を逃したら、次に入れるトイレがなかなか見つからないかもしれないし、その間に漏れてしまったらベビーカーも濡れてしまうし…。運転していても、カフェで休憩していても常に「漏れていないかな」と気にしていました。

DFreeを使用してからは、尿の溜まり具合を把握できるようになったことで「出たからそろそろ替えよう」とか、逆に「今の溜まり具合なら1時間は出ないだろう」とか、**ある程度見通しを立ててられる**ようになりました。

運転にも集中できますし、ゆっくりとリラックスしてカフェで休憩することができるのでとても助かっています。

ご家族の心に余裕ができることも、とても大切です!

トイレトレーニングや外出時のオムツ交換のタイミングの予測にDFreeをご活用いただいているSさん。トイレトレーニングの第一歩を踏み出したSさんをDFreeも応援しています!



DFreeでおしこのたまり具合をチェック



トイトレのストレス激減！ トイレの成功に子どもも笑顔に

★ 利用者情報

Fさん 女性(4歳)

自閉症スペクトラム/ADHD/知的障害

通っている学校：未就学

通っている施設：療育園(個別、集団)

障害の程度：中等度知的障害/身体障害なし

手探りでのトイトレは親子共にストレスになっていた

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

基本的にはオムツ排泄です。トイトレの一環として、**2時間おきくらいの頻度でトイレに誘導**もしていました。タイミングが合えばトイレでおしっこが出ることもありました。

★ その時は何に困っていたんですか？

せっかくトイレに連れて行っても、**タイミングが合わずに出ない**ことも多くて困っていました。タイミングじゃないのにトイレに座ることが、親にとっても子どもにとってもストレスになっていたのかな。**トイレに誘っても、嫌がる**こともありましたね。



DFreeをテープで固定して装着しています

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

布パンツを試しました。不快感は感じるようで、出たことを教えてはくれたのですが、トイレでしなきゃという意識には結びついていません。トイレでおしっこが出せたら、シールを貼るとか、シールが溜まったらおもちゃと交換...なんてことも試しました。実は一時期、調子が良くて連れていく度にトイレに成功できたこともあったんです。ですが、体調を崩してしばらくオムツ排尿をしていたことをきっかけにまた振り出しに戻ってしまったような感じですね。

トイレ誘導のタイミングが知りたい

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

Instagramでフォローしている、発達障害児を育てるママさんの投稿をみてDFreeのことを知りました。尿の溜まり具合がわかることで、**トイレのタイミングを掴めたら上手くいくかもしれない**と思ったので、お試しで使うことにしたんです。



タブレットでおしっこの溜まり具合をチェック

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

一番はちゃんとつけてくれるのかどうか、というところですね。そもそも機械をつけてくれなかったらどうしようもないなと思っていたので。うちの場合はどちらかというと**感覚鈍麻なので、あまり嫌がらず**につけてくれて成功につなげることができたので良かったです。

★ DFreeを使って困りごとは解決しましたか？

トイレの成功が増えました!パンツを濡らさずに過ごせた日もあります。DFreeを使って一番の気づきだったのは、**思っていたよりもおしっこを溜めることができるんだ**ということです。2時間おきに誘導していたのが4時間おきになったので、トイレ誘導の回数自体が減りました。手探り状態でトイレ誘導をしていた時は、頻回にトイレに連れて行っているのに出なくてイライラしてしまっていたところがあったのですが、“溜まっているから連れていく”ようにしたことで、**親子共にストレスが大きく減りました**。

成功体験で子どもがニコニコ笑顔に!

★ DFreeを使ったことで、お子さんに何か変化がありましたか？

今回DFreeを使ったことで、子どもの中で少しずつ“**自分の意志でおしっこを出す感覚**”がわかってきたように感じているところです。あと、成功したときにたくさん褒めるようにすると、本人もとっても**ニコニコと嬉しそう**にしてくれるんです。多分、トイレで出すのは良いことなんだって思うようになってきているのかなと思います。



成功体験でにっこり笑顔に

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいなと思うことはありますか？

「トイレでおしっこ出たね!すごいね!」という成功体験をもっと増やして行ってあげたいです。そして、いつか**自発的にトイレに行ける**ことをゴールだと思って、使い続けていきたいですね。

トイレ誘導のタイミング把握にDFreeをご活用いただいているFさん。笑顔でトイレが継続できることをDFreeも応援しています!



DFree で排尿タイミングを数値共有！ 学校や放デイとのトイレ誘導連携がスムーズになりました

★ 利用者情報

Gさん 男性(6歳)

自閉スペクトラム症(ASD) / 発達障害

通っている学校：公立小学校の支援学級

利用している福祉サービス：放課後等デイサービス

その他：精神障害者手帳を保有/精神薬の服用経験あり

DFreeを導入した理由は「我慢のしすぎを防ぐため」

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

最初にDFreeを知ったのは、障がいのある子どものための福祉機器展「関西キッズ機器展」のInstagramです。Instagramの投稿で”排尿をサポートしてくれる機器”としてDFreeが紹介されていて、すぐに検索しました。

ホームページを見て、「**トイレの悩みを解決するヒントがあるかもしれない!**」という期待を胸に「関西キッズ機器展」に参加しました。会って話を聞いたり、実物を見たりすることでイメージが沸いたので使ってみることに決めました。



DFreeが尿意をチェックしてくれるからテレビを見ながら安心して過ごせます

★ その時は何に困っていたんですか？

小学校に上がってから、**こだわりの強さからトイレに行くことが難しくなって、学校や放課後等デイサービスでおしっこを我慢してしまう**んですね。

漏らすこともしないので、12 時間でも平気で我慢していました。**我慢のしすぎで平日は毎晩のように膀胱が痛くなってしまい、頻繁に病院に通っていました。**また、日中におしっこを我慢しているから夜間の尿量がすごく多くて、夜中に2、3回オムツを変えないといけないう状況でした。

あとは、おしっこが出ないように水分を摂ろうとしなくて、脱水症状で発熱してしまうこともあり困っていました。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

主治医からは「**すぐにも学校のトイレ環境を整えないといけないう**」と言われていましたが、子どもはトイレに近づくこともしなかったんですね。膀胱鏡検査を勧められたこともありました。

家庭でできることとして、**防水パンツや尿とりパッド**なども試してみましたがうまくいかず。結局、学校や放課後等デイサービスでは、「**トイレの代わりにおしっこをする場所**」としてオムツを履いていました。

オムツの場合でも、学校の先生にオムツを触られることを嫌がるので、**排尿のタイミングがわからず、濡れていてもずっと同じオムツを履いている**んですね。

あとオムツに関しては、日本製のオムツは赤ちゃん用品のイメージが強く、デザイン面で使い続けることに抵抗がありました。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

妊婦検診で行うエコーのような仕組みとは聞いたものの「**本当に尿の溜まり具合を感知してくれるのかな?**」という疑問がありました。ただ、**DFreeの数値と病院で測る数値がだいたい合っているときが多く、使い続ける中で病院の先生も「DFreeつけてる?」**など一緒に活用してくれるようになりました。

ほかには、「ちゃんと使いこなせるかな?」とか「**子どもが暴れた時に壊してしまわないかな?**」という不安がありました。期待の方が大きかったです。子ども自身はタブレットが好きなので「**タブレットを触ってみたい**」とわくわくしていました。

排尿のタイミングを知るためにDFreeを利用

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

家ではパンツを履いていて、おしっこはトイレでしていました。外出先ではトイレに行くことが難しかったので、オムツを履いていました。

学校や放課後等デイサービスでは、先生たちが様子を伺ってオムツ替えの声かけをしてくれていましたが、オムツが濡れてもそのまま過ごしていました。先生たちに「おしっこ出た？」と聞かれたときに、出ていたとしても「出てない」と言ってしまうたり、オムツを触られることを嫌がって確認させてくれないんですよね。



放課後デイサービスでもしっかりトイレでたよ!を記録

★ DFreeを導入してみて行動の変化はありましたか？

子ども自身が尿の溜まり具合を数値で確認できることで、事前にトイレに行けるようになりました。例えばゲームの途中や、ご飯を食べる前など、今までだったら絶対に行こうとしなかったタイミングでも納得感をもって行ってくれるようになりました。

学校や放課後等デイサービスでは、オムツを確認しなくても排尿のタイミングが掴めることで、先生たちがオムツ替えの声かけをする回数が減り、誘導がしやすくなったようです。数値を言われると、子ども自らオムツを替えに行くときもあるみたいです。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

DFreeを通じて、家族や学校などみんなと同じ方向を向けるというか、トイレ事情を共有しやすくなったことが良かったです!尿の溜まり具合を数値でコミュニケーションできることが大きいですね。すでにDFreeが生活の中でなくてはならないものになっています。

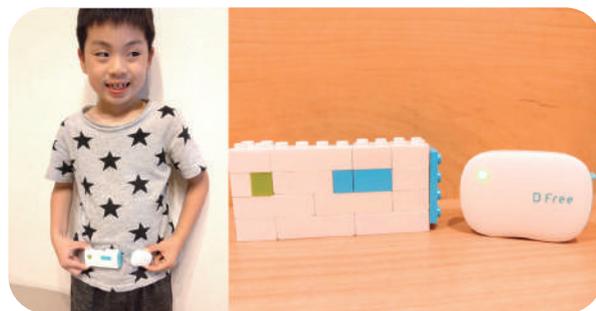
まだトイレには行けない場面はあるので解決には至っていないものの、気持ちの面では大幅に楽になりました。

今後の目標はどんな状況でもトイレでできること

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

「溜まってきたな」という感覚を自然と気かけられるようになってほしいなと思います。

すでに本人の意識は変わってきているような気がします。興味本位なのかもしれませんが、たとえば、自らタブレットで数値を確認して「こんなに溜まっているのか」と独り言を言っていたりします。



自作してくれたレゴDFree

★ 尿が溜まっている感覚を養ってどんな状況でもトイレに行けるようになったら嬉しいです

今まで防水パンツや尿とりパッドを使ったり、メーカーを変えたり、お金も時間もたくさん使ってきたけど成功には至らなくて...。まだ現在進行形ですが、糸口になりそうなものは見えてきたという感じですね。完璧にトイレに行けるようになってくれると嬉しいです!

排尿のタイミングを把握したり、子ども本人のおしっこへの意識づけのためにDFreeをご活用いただいている後藤さん。どんな状況でもトイレでできるようになることをDFreeも応援しています!



DFreeでトイレの拒否が減少。 成功体験に繋がった！

★ 利用者情報

Aさん 男性(6歳)

遺伝子異常/急性脳症/てんかん

通っている学校：地域の小学校の支援級

利用している福祉サービス：放課後デイサービス

障害の程度：ふらつきはあるが一人で歩ける/簡単な単語が話せる

トイレを拒否するようになり失敗が続いていた

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

もともとは2、3時間おきくらいでトイレ誘導をしていました。タイミングとしては、なんとなくモジモジしている様子だったり、たまに下腹部をぼんぼんと叩く仕草で教えてくれたりする時に連れて行っていました。ほとんど失敗することなくできていた時期もあったのですが、たまたま連続で漏らしてしまったことがあり、それをきっかけになかなかタイミングが合わなくなって、今は30分～1時間に1回くらいトイレ誘導しています。

★ その時は何に困っていたんですか？

トイレを嫌がるようになってきたことです。トイレの声掛けをしても本人は行きたがらなくて、そうこうしているうちに漏れてしまう...の繰り返しでした。その都度着替えも必要なので、負担が大きくなることも困っていました。

おしっこの溜まり具合がわかれば“トイレのタイミングが掴めるかも”と思った

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

おしっこが漏れてしまうことが増えてきたので、吸水パンツやパッドを使用した方が負担の軽減になるかなと思って色々調べていたときに、DFreeのことを知ったのがきっかけです。おしっこが溜まったタイミングでトイレに誘導できれば、またスムーズにトイレに行けるようになるかもしれないと思って、試してみることにしました。

★ DFreeを使う際に困ったことはありましたか？

恥骨の位置がなかなかわからなくて、最初は着ける位置に苦労しました。思ったよりも下に着けるんですね。ちょうど訪問リハビリがあったので、スタッフさんに恥骨の位置を教えてください、DFreeさんからも参考の写真を送ってもらって使用を続けているうちに慣れてたんです。あと、最初は子どもも機械に慣れなくて着けることに拒否があったり、途中で外してしまったりしました。そこで、ちゃんと説明しながら使うことを意識してみました。1回ではわからなくても、繰り返し説明することで少しずつ理解していくかなと思うので。



DFree が尿意をチェックしてくれるから
安心して遊ぶことができます

トイレでのおしっこが成功してモチベーションもアップ!

★ DFreeを活用してみているかがですか？

最初はなかなか上手く使えなかったのですが、徐々に膀胱とDFreeの数値がリンクしてくるのを感じました。通知が鳴ったタイミングでタブレットを見せることで、嫌がらずにスッとトイレにいて、排尿することができたんです。それでも、気分の問題もあるのか拒否する時もあるんですけど、結構順調にトイレに行くことができます。成功体験があったことで、トイレに対する私のモチベーションもあがりました。DFreeがおしっこの溜まり具合を数値で教えてくれますし、ちゃんとおしっこを溜めることができているとわかるので、トイレのことばかりを気にせずいられて精神的な負担も軽減しました。

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

もともと安定してトイレが成功していた時期があったので、その頃の状態まで戻れたらなと思います。DFreeを目安として成功体験を積むことで、学校でも家でもちょっとずつトイレの成功が増えていけば良いですね。

トイレ誘導のタイミングの把握にDFreeをご活用いただいているAさん。トイレの成功体験が増えることをDFreeも応援しています!



DFree導入で見た排尿リズム！ 手探りのトイレトレーニングの大きな助けに

★ 利用者情報

〇さん 女性(7歳)
ダウン症/知的障がい

通っている学校：特別支援学校

利用している福祉サービス：個別療育

障害の程度：歩行や座位に問題なし/発話無し、簡単かつ日常的な指示は理解できる

トイレトレーニングを助けてくれるサービスを探していた

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

娘は発語がなく、尿意を自分で伝えることができません。日常的な行動(お風呂やご飯)については理解しているものの、トイレに関する認識はまだ不十分でした。

トイレトレーニングを進める上で、伴走してくれるサービスが欲しいと思っていたとき、Instagramの広告を見てDFreeに興味を持ちました。

尿のタイミングを知らせてくれる点がトレーニングに役立つと考え、夏休み期間中に使用を始めました。

★ その時は何に困っていたんですか？

オムツ生活が長く、膀胱に尿を溜めすぎてしまうことが頻繁にありました。トイレに座ると尿を我慢し、家ではトイレに行きたがらないため、大量にオムツに排尿して漏れることが多かったです。

尿意を感じた際にも、うまく排尿できないため、**排尿のタイミングが把握しにくい状態**でした。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

おねえさんパンツを使ってみたことがありました。しかし濡れるのが不快で、余計におしっこを我慢してしまう時間が長くなり、悪循環になっていました。

★ DFreeに対してどんな期待感を持ちましたか？

まず「排尿を教えてくれる」という言葉に興味を持ちました。娘が実際に使えるかはわかりませんでしたが、まずは試してみようと思いました。**親としても、トイレトレーニングを進めるうえで、程よいプレッシャーになると感じました。**



専用デバイスで尿の溜まり具合を簡単に確認することができます

DFree導入で排尿リズムを掴むことができた

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

家ではほとんどトイレに行かせることがありませんでした。学校では授業の合間にトイレに誘導してもらっていました

が、そこで排尿することなく、オムツに一気に排尿してオムツから漏れてしまうことがありました。

★ お子さんはデバイスの装着はスムーズに受け入れてくれましたか？

付属の固定テープでカチッとはめるだけで、スムーズに使用を開始できました。 本人も思いのほか抵抗なく、問題なく使用を開始できました。

★ DFreeを活用してみて感じたメリットは？

DFreeの導入でいくつか嬉しいポイントがありました！

<数値の確認ができる>

膀胱に尿が溜まっている様子を客観的に把握できたことが嬉しかったです。例えば、1日2回しか排尿していなかったのが、3回に増えた際も、履歴を見て正確に把握できました。

<子どもとのコミュニケーションのきっかけになった>

デバイスを通しておしっこについて子どもに声をかけて、共通の認識が持てるようになりました。

<膀胱炎対策について考えるきっかけになった>

数値を見て「このままでは膀胱炎になってしまう」と考えるきっかけができました。もしデバイスを導入していなければ、そのことに気づかずにいたかもしれません。

！ 今後は学校生活でも取り入れていきたい

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

現在はあえて何も履かせず漏らさせることで「おしっこが出たね」という意識を娘と確認しています。

今後は学校と相談しながら、**DFreeを学校生活にも取り入れたい**です。先生方に負担をかけない範囲で理解を得て、トイレトレーニングを進めていきたいと考えています。

排尿のタイミングを把握するためにDFreeをご活用いただいているOさん。お子さんのペースでトイレトレーニングが進むよう、DFreeも応援しています！



オムツが外れるだけがゴールじゃない！ DFreeを使って発達の促進

★ 利用者情報

〇さん 男性(7歳)

腎低形成/口唇口蓋裂/裂手

通っている学校：支援学級

利用している福祉サービス：居宅介護

障害の程度：トイレ動作は見守りのできる/2語文が話せる

DFreeを導入した理由は「トイレに使用したくて」

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

障がい児・疾患児のための情報サイト「ファミケア」を通じて、DFreeのことを知りました。

ちょうど学校でもトイレをおこなっているのですが、オムツが外れない、トイレの自立が見えないことに悩みを抱えていました。疾患の影響で多尿なので、オムツの消費も多くて。息子の場合は、紙おむつの給付金や助成が使えないので**経済的な負担の心配**もあり、オムツが取れたらいいなと思ってお試しを申し込みました。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

DFreeを装着すること自体ができるのか心配でしたが、意外とすんなりつけてくれました。男の子だからかもしれませんが、お腹につけているのがかっこいい!と感じるみたいで。1回つけてしまえば、その後は抵抗なくつけることができました。

★ DFreeを使う際にどのようにお子さんに説明しましたか？

装着してくれるかが心配だったので、まず私(母)がつけて、そのあと本人の妹がつけてみて、最後に本人につけてみました。つける段階で「これでおしっこが溜まっているかわかるんだよ」と、**ツールの意味を説明したら、思っていたよりちゃんと理解**してくれて。私にとっても「息子はこんなに色々なことがわかっているんだ」という気づきになりました。

トイレ誘導にDFreeを利用

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

時間を決めてトイレ誘導をしていました。学校では、毎休憩ごとに誘導してもらっているので、1時間に1回くらいのペースでトイレに行っていました。学校の先生にもトイレについて相談したところ、「今は生活リズムをつけていくことが最優先なので、休憩になったら定期的にトイレの声掛けをして、本人の中で習慣づけをしていきましょう」というアドバイスがありました。

ただ、多尿のためどうしても漏れてしまう可能性があり、完全にオムツを外すことは難しいかもしれないと思っています。



おしっこのたまり具合をタブレットでチェック

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

尿のたまり具合を確認し、タイミング良くトイレ誘導することで、トイレでの排尿に成功しました。1日のうちに数回トイレで排尿できたので、**オムツの使用枚数も減りました。**

オムツが外れることだけがゴールではない

★ DFreeを使用して、お子さんにどのような変化がありましたか？

おしっこに関するコミュニケーションが、増えました。タブレットを見ておしっこが溜まったら「溜まった、トイレ。」って教えてくれたり、小学校でもやりたいと言ってくれた時には本当に驚きました！

子ども本人がDFreeの画面を見て**おしっこが溜まったことを理解して、自分の尿意を伝えられるようになり、トイレに行くことっていいことなんだという感覚に気づいた**んです。これは、DFreeが無ければ教えることができなかったと思うので「これはすごいぞ...!」と感じましたね。

★ 親の立場では、どのような発見がありましたか？

DFreeを使用することで、どのくらいおしっこを貯められるのかとか、1日の排尿回数がどのくらいか、という情報が初めてわかりました。

また、DFreeを使ったことでトイレへの意識の変化もありました。これまではトイレに行けることやオムツが外れることがゴールだと思っていたけれど、**必ずしもオムツが外れることだけが目的ではないんだ**なと思うようになりました。

完全にオムツが外れなかったとしても、DFreeは**本人の発達を促すツール**として使える、とても意義のあるものだと感じています。

トイレ誘導のタイミングを掴むためにDFreeをご活用いただいているOさん。DFreeもご本人の成長に感動しました！



DFreeで“トイレの空振り”を改善！ 成功率がほぼ100%になりました

★ 利用者情報

Y.Uさん 女性(7歳)

先天性疾患による体幹機能障害/肢体不自由、発話ができない

通っている学校：肢体不自由の特別支援学校

利用している福祉サービス：放課後デイサービス

障害の程度：歩行や座位保持が困難/発話ができないため言語コミュニケーションが困難/てんかんあり

DFreeを導入した理由は「トイレに連れて行っても出ない“空振り”の改善」

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

DFreeを知ったきっかけは、子ども用福祉機器展「キッズフェスタ」です。DFreeのブース前を通りがかったときにお話を聞いて、ちょうど排泄について悩んでいたのが「すごく使えそう!」と感じて導入を決めました。



DFreeを確認するY.Uさん

★ その時は何に困っていたんですか？

言葉を話すことができないので「トイレに行きたい」という意思が読み取りづらくて、トイレに連れて行ってもおしっこが出ないことに困っていました。

体幹機能に障がいがあるため、トイレに座るときには支えていないといけません。20kgもある子どもを腕で支えながら待つことは結構大変で、5分が限界でした。

5分間頑張ってもおしっこが出なくて、オムツを履いたらすぐに出るということもあり、精神的にも負担を感じていました。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

おしっこが漏れてしまわないようにオムツは試行錯誤しましたね。

サイズが難しい年齢で、赤ちゃん用のBigより大きいサイズだとちょっと小さくて、ジュニア用だと大きくて、ジュニア用のオムツの中にさらにパットを入れて漏れないようにしています。でもその分かさばるので、夏は特に暑くて蒸れるんですよ。

あとは、これから座椅子型のトイレを購入しようと思っています。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

DFreeを着けることに対して「子どもが気になったり、嫌がったりしないかな？」という不安はありました。

使ってみると、うちの子の場合は全然気にすることなく着けてくれたので、安心して使えました。

トイレ誘導にDFreeを利用

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

基本的にオムツでしてしまうことが多いです。

学校ではトイレでできることも多いそうなんですけど、自宅ではトイレに連れて行ってもタイミングが合わず、オムツでし

てしまうことがほとんどでした。トイレが成功するのは、朝起きてまだおしっこが出ていないときくらいですね。成功率でいうと5%くらいでした。

★ 時間は1日どれくらいでトイレ介助をして いたんですか？

学校だと習慣がついているのか、1時間おきにトイレ誘導をしてくれているそうで、出ないと思っていても意外と出ることも多いそうです。自宅だと1~2時間とかある程度の時間が経ったらオムツを確認しています。行けそうだったら、「トイレ行く？」と声かけをして抱っこで連れて行きますが5分待っても出なくて、結局オムツでしてしまうという感じでしたね。



DFreeでおしっこの溜まり具合を確認してからトイレに行くよ

★ DFreeを活用してみても実際に困りごとは解決しましたか？

排尿のタイミングが掴みやすくなり、失敗の回数が大幅に減りました！ほぼ100%に近いくらい成功しています。出るまでに待つ時間があっても、おしっこが出ることがわかっていると前向きな気持ちで待てるんですね。とても助かっています。

オムツの使用量もすごく減りました！以前は1日に6~7枚使っていたのが、DFreeを使い始めてからオムツを替えなくても済むので、1~2枚にまで減りました。

★ 困りごと以外でDFreeを便利だと感じたところはありますか？

尿検査のときにも便利でした！

検尿用のシートだと、うちの子は歩行ができないためお尻で移動するので、シートがずれて漏れちゃったりするとやっぱり不快だと思うんですね。

DFreeだと排尿タイミングの通知が鳴ったらそのままトイレに行くだけだったのでとてもスムーズに尿が採れました。

今後の目標はDFreeを活用してどこでもトイレが成功すること

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、 と思うことはありますか？

DFreeを使えばほとんど完璧にトイレのできるの、今後学校や放課後デイサービスでも使ってもらえればいいなと思っています！

放課後デイサービスだと「全然使ってみるよ！」と言ってもらっていたり、学校でも授業の妨げにならない範囲でDFreeを使ってもらえるようにお話しを進めているところです。

★ 少しでもトイレの成功が増えていくと嬉しいです

はい！トイレで成功するとももちろん私たちも嬉しいんですけど、何より子ども本人がニコニコしてくれてとても嬉しそうなんですよね！周りにも褒められるし、自分でも拍手して喜んでいます。

これから学校や放課後デイサービスなどいろんな場面でDFreeを使って成功を増やしていきたいです！

トイレ誘導のタイミング把握やお子さんのモチベーションの向上にDFreeをご活用いただいているY.Uさんのご家族。今後もトイレの成功体験が増えていくことをDFreeも応援しています！



トイレで成功できてとっても嬉しそう！



精神的負担が軽減し、トイレのやる気アップ！ 学習時間の確保にも

★ 利用者情報

Kさん 女性(7歳)

難治頻回部分発作重積型急性脳炎/レノックス・ガストー症候群

通っている学校：特別支援学級(肢体)

利用している福祉サービス：訪問看護、訪問リハビリ

障害の程度：介助で歩行可能/てんかん発作あり/簡単な言葉は理解できるが、発語はほとんどなし

時間誘導は親子共に負担が大きかった

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

学校では**数時間おきにトイレ誘導**をしてもらっていました。

トイレに5分くらい座って、出るときもあれば、出なくて終わりということもありました。

家では朝と寝る前のみトイレに連れて行っています。

★ その時は何に困っていたんですか？

本人がじっとしているのが苦手で、長くトイレに座っていることができないので困っていました。おしっこが出るかわからないけど、とりえず座ってみる...としているうちに本人も嫌になってしまって「もう降りる」とジェスチャーで意思表示するんですね。そのうち**お互いの心が折れてしまう**というか。

学校ではトイレトレーニングのために**学習時間が削られる**こともありました。

また、特に夏場暑くなるとオムツで汗疹ができてしまうこともあって、早く綿パンツに移行できたら良いなと思っていました。

★ DFree以外にも、なにか試した方法がありますか？

トレーニングパンツやトレーニングパッドを使用したこともありましたが、1ヶ月くらいは試してみましたけど、特に変化がないのでやめました。

時間帯でそろそろラインを調整して使用

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

子どものための福祉機器展「キッズフェスタ」でDFreeのことを知ったのがきっかけです。

尿の溜まり具合が数値として視覚的にわかるということで、タイミングよくトイレ誘導して、トイレで排尿することが定着すれば良いなと思って、使ってみようと思いました。



テレビに夢中でもDFreeが尿意を知らせてくれます

★ DFreeをどのように使用していますか？

そろそろラインの設定をこまめに調整しながら使っています。
うちの場合、朝ご飯を食べた後におしっこが出ることが多く、その場合は4くらいしか溜まっていなくてもでるので、ご飯が終わったタイミングで通知がでるように通知を設定しています。
日中は7か8にそろそろラインを設定していて、通知が来てトイレに連れて行って出なかったら9に設定をあげて...また数値が上がったらトイレに誘導しています。
それでも出なくて最終的に10になったら、少し時間をかけてトイレに座っています。



学校でもDFreeを使用

尿が溜まったタイミングがわかり、精神的負担が軽減！

★ DFreeを使用した感想を教えてください。

今までは、尿が溜まっているかどうかわからない状態でトイレで頑張るのが親子共に負担になっていましたが、DFreeを使用したことで尿が溜まっているタイミングでトイレに連れていくことができるので、**気持ち的にとても楽になりました。**

尿の溜まっていることがわかると、**私のトイレトレーニングのやる気も上がります！**

外出中だと人が多くいる中で頻回にオムツチェックすることは難しく、時間誘導するのも大変なのですが、DFreeがあれば「10溜まったからそろそろトイレに行かないと！」など**判断の目安**になるので助かっています。



DFree が尿意をチェックしてくれるから
公園でも安心して遊べます

★ 今後も使用を続けることで、どんなことを期待していますか？

本人はDFreeのことを理解してはいませんが、**通知音は覚えられる**と思うので、使用を続けることで「この音があったからトイレに行かなきゃ」と繋がってくれたら良いと思います。

今は学校での使用はしていませんが、今後は学校でスポット尿測定をメインに使用していきたいです。授業と授業の間にチェックして溜まっていたらトイレに行くようにしてもらえたら、もう少し学習に時間が使えて良いんじゃないかと思っています。

また、今は排尿の記録を連絡帳に記録していますが、誘導した時間や出たか出なかったかを都度記録するのは手間がかかりますし、ペーパーベースだと記録を全部取っておくにも場所をとりますよね。タブレットに記録していくことで、**先生の負担軽減にも繋がりそう**だなと期待しています。

トイレのタイミングの把握にDFreeをご活用いただいているKさん。ご本人の中でトイレが習慣化されることをDFreeも応援しています！



DFreeでトイレ成功率が2割UP! タイミングがわかることで空振りが減りました

★ 利用者情報

Mさん 男性(9歳)

ダウン症/知的障がい、体幹機能障害

通っている学校：特別支援学校

利用している福祉サービス：放課後デイサービス

障害の程度：筋肉が柔らかいため装具使用、歩行可能/言語コミュニケーションは単語での意思疎通

DFreeを導入した理由は「トイレ誘導のタイミングを掴むため」

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

トイレトレーニングに行き詰っていたところで、Dfreeの広告を見つけ、試してみようと思いました。

尿が溜まっていることが周りにわかれば、**トイレへの誘導のタイミングが掴めるし、トイレでの排尿が成功すれば、本人にとっても自信に繋がると**思いました。

★ その時は何に困っていたんですか？

トイレに行きたいことを伝えることが日常的にはなく、意思表示が基本的にありませんでした。学校や施設で定期的に **トイレの誘導はあるものの、なかなかタイミングが掴めていませんでした。成功率はだいたい50% ぐらい**でした。

また、水分や食事の摂取量にムラがあり、**タイミングが一定にならず、検尿も上手くできないことが悩み**でした。



タブレットを使いながら楽しくご利用できます

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

トレーニングパンツに挑戦した時期が半年ほどありましたが、教員が忙しく対応が難しかったことや、本人の意欲が育たなかったため、中断しました。

トレーニングパンツだと衣服まで濡れてしまい、**介助の手間が教員に負担**となっていました。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

子どもにも使えるのかが心配でした。また、費用が高価なため、お試しができるかどうか心配な点でした。乾燥肌なのでシートでの被れが心配でしたが、試してみたらうちの子には大丈夫でした。

トイレ誘導のタイミングの把握にDFreeを利用

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

オムツでの排尿が主で、学校や施設では定期的なトイレへの誘導がありました。タイミングがズれてしまうことがありました。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

溜まっている尿の量が可視化できるため、トイレのタイミングが分かるようになり、周りの大人が積極的にトイレに誘導できるようになりました。空振りがなくなり、適切なタイミングで声掛けができるようになりました。

成功率も6～7割に上がり、装着する前と比べて2割程UPしました。本人の気分がのっているときには、デバイスを見て排尿を意識するようになりました。トイレ後に画面をタップすることを楽しんでいる様子です。意識付けとしてもうまくいっているように思います。



DFree で積極的にトイレ誘導

★ 検尿についても困難さがあるとおっしゃっていましたが、そちらはいかがですか？

DFreeの装着で成功に繋がりました！紙コップに尿が貯まることも嬉しかったようで、たまに紙コップを使ってトイレ誘導をすることもあります。機器の装着はよい機会でした。

今後の目標はトイレの成功体験へ繋げること

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

段階的にトイレの自立へ向かっていけたら良いと思います。今は主に周りの大人がトイレ誘導のタイミングを把握するためにDFreeを使用していますが、ここから **トイレの成功体験が重なって、オムツを卒業する日が来ると嬉しいです。**

反抗期もあり、気持ちの上下もあるので、本人の様子を見ながらスローステップで進めていけたら嬉しいです。

また、デバイスがもっと浸透して、機器を使える施設が増えるといいなと思います。やはり不慣れな機械を持ち込むと躊躇される事業所もありました。

★ なるほど、ご本人のペースで自立へのステップを踏んでいけると嬉しいです。

そう思います。1年ほどかけて卒業出来たらいいなと思っています。



お子さんのペースでトイレの成功体験の積み重ね

適切なトイレ誘導のタイミング把握や検尿時にDFreeをご活用いただいているMさん。徐々にトイレでの成功体験が積み重なっていくことをDFreeも応援しています！



DFreeで見た新たな発見！ 現状把握だけでなく今後の成長への期待も

★ 利用者情報

Kさん 女性(10歳)
脳性麻痺/肢体不自由

通っている学校：支援学級

利用している福祉サービス：医療機関での訓練(過去に療育センター)

障害の程度：歩行不可のため歩行器を使用/大体の言葉を理解できる。
喃語での発話と手話やひらがな表を使ったコミュニケーション。

トイレットレーシングを始めるタイミングでDFreeに出会った

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

DFreeを使う前は、トイレットレーシングはほぼしたことがありませんでした。かかりつけ病院の医療者からは「まずトイレに座ることに慣れましょう」「排尿していない時間帯があるのか知りたい」という話もあり、トイレについて気になっていました。

その頃、福祉機器展でDFreeの方からチラシをいただき、ちょうどタイミングが良かったこともあり、その場でお試しのお申込みをしました。



排尿リズムを把握するためにDFreeを使用

★ イベントでチラシを見て、DFreeに興味をもっていただいたのですね。その時具体的にはどんな部分に魅力を感じましたか？

入院先の看護師の方から「排尿していない時間帯を知りたい」というお話があり、脳性麻痺の影響で常に排尿しているのか、ある程度のリズムがあるのかどうなのかについて、DFreeを使う事で計測できると思いました。

なので、当初はトイレットレーシングのためというよりも、むしろ現在の**娘の排尿リズムの把握ができる!**という部分に魅力を感じていました。

★ その時は何に困っていたんですか？

排尿リズムを把握することが難しく、オムツを頻繁にチェックするものの、具体的にどんな頻度でおしっこをしているのか親が把握できていませんでした。

また、トイレに座ってもおしっこがでず、空振りすることが多く、成功することはほとんどなく0回でした。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

娘がちゃんとデバイスを装着してくれるかどうかは、やはり心配でした。見慣れないものを付けることに抵抗がありそうなので、最初は余り期待せず付けないこともあるかもしれないな、という心持ちでいました。

ですので、商品が届いた時には、パンフレットを見せたりタブレットを**実際に見せて本人のモチベーションが上がるように工夫**しました。



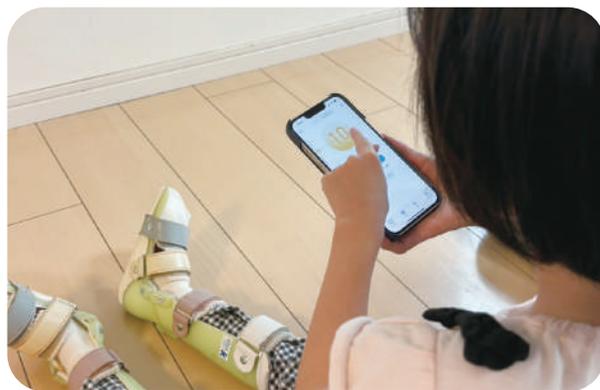
実際にDFreeを装着した様子

現状の観察以外にも思わぬ効果が

★ 元々は膀胱の状態観察のためにお試しをしたとのことでしたが、実際に使ってみての感想はいかがでしたか？

娘の現状について新しい発見もあり、また状態観察だけでなく、トイレへの誘導のタイミングを知る意味でも大変役に立っています。

心配していた装着自体についても、娘がスムーズに受け入れてくれたこともあり、次の日に初めてトイレでのおしっこを成功させることができました。



デバイス画面で尿の溜まり具合を簡単にチェックすることができます

★ DFreeで膀胱の状態を計測してみた結果、どんな新しい発見がありましたか？

これまでは、朝のおむつ替え時点でおしっこが毎回でていたので、夜もしているのかと思っていたのですが、実際にデータを見ると夜間帯は割と止まっており、起きてすぐのタイミングで排尿しているんだということがわかりました。DFreeの装着によって、夜はしっかりと膀胱におしっこを溜められているんだ、ということを知ることができました。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

はい。娘の膀胱の状態について観察できるだけでなく、おしっこのタイミングが分かるようになり、1日に1、2回はトイレでの排尿が成功するようになりました！

また、これまではオムツの使用がメインだったため「手を洗う」という習慣がなかったのですが、DFreeを装着しながらのトイレトレーニングをきっかけにトイレの後に手を洗うようになりました。

今後の目標はトイレの意思表示

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

今後はトイレでの成功体験を機に、娘が自分でおしっこの意思表示ができるようになると嬉しく思います。

今は数値を見て「おしっこが溜まっているね」「まだ溜まっていないね」と声掛けをして、本人におしっこの感覚を実際の尿意と紐付けられるように工夫しているところです。



Kさんご家族がご自宅で過ごす様子

膀胱の状態観察だけでなく、トイレのタイミングを把握するためにDFreeをご活用いただいているKさん。思わぬ習慣付けもでき、多方面でのメリットを感じていると話してくださいました。将来的に、お子さんが自らトイレの意志表示ができるようDFreeも全力で応援しています！



DFreeで積極的なトイレ誘導！ 排泄の傾向も知ることができた！

★ 利用者情報

Kさん 男性(12歳)

脳性麻痺/肢体不自由/知的障害

通っている学校：特別支援学校

利用している福祉サービス：放課後等デイサービス

障害の程度：歩行器や介助があれば歩ける/発語なし

手厚いサポートで安心して利用できる！

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

岐阜で開催された福祉機器展でDFreeを見つけました。もともと尿の溜まり具合がわかるセンサーがある、ということは知っていましたが実際に見たことはなくて。高齢者だけでなく、子どもにも使えるんだということを知って、興味を持ちました。

これまでトイレトレーニングを重視して行っていなかったのですが、DFreeを使ってチャレンジ出来たら良いなと思い、試してみることにしました。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

「装着する場所が合っているのかな？」という心配はありました。膀胱の位置が外から見えるわけではないですし、上手くできているかが不安だったんです。でも、テレビ電話で画像を使って説明してもらえたり、適宜LINEで相談できたりサポートが充実していたので、安心して利用することができました。

DFreeの使用で本人の排泄の傾向がわかった

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

学校では、長い休憩時間にトイレに連れて行ってもらっていました。

学校にいる間に2回くらいはトイレ誘導してもらっていましたね。

自宅では時間を決めたりはしておらず、少し手が空いた時に声掛けしていました。その時点ですでに出てしまっていたらオムツ交換のみで、もし出ていなければトイレ誘導する...といった具合で。トイレで排尿できることもたまにありました。



DFreeを使ってトイレ誘導をしている様子

★ DFreeを使用してどんな成果が得られましたか？

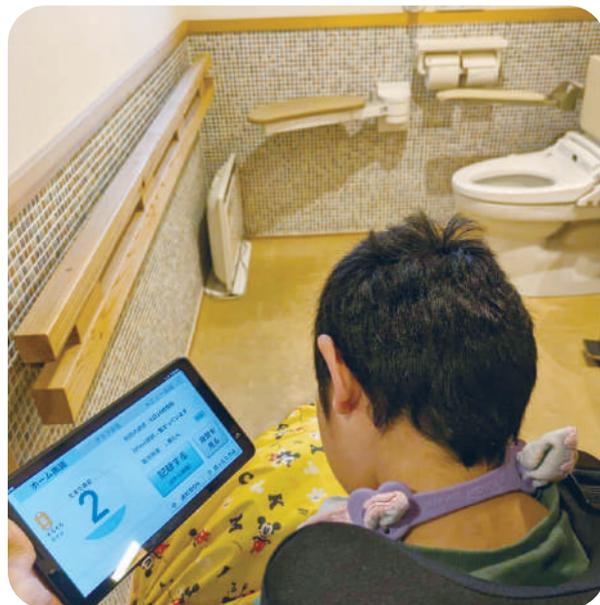
午前中は、比較的トイレでの排尿に成功して、時間誘導の目安をなんとなくつかむことができたかなと思います。午後からはなかなか成功しなくて、溜めて出すというより少しづつ出ていることも多かったです。

ただ、これまではそういうこともわからなかったのですが、DFreeを使ったことで本人の傾向がわかっただけでも大きな成果だと思っています。

支援者とトイレトレーニングについて話し合うきっかけにも

★ DFreeを使用した感想を教えてください。

これまで本格的なトイレトレーニングはしていませんでしたが、家で過ごしていても、トイレに行く時間を前より意識するようになりましたし、DFreeがトイレに誘導する目安になりました。また、トイレについて学校や放課後等デイサービスでもあまり話をしてこなかったのが、DFreeを使用したことで、**これからのトイレ誘導の仕方などを話し合っていくきっかけになった**と思います。



DFreeの通知をもとにトイレに向かいます

トイレトレーニングへのチャレンジを始めたKさん! DFreeも応援しています!



DFreeで導尿タイミングを把握！ 昼夜ともに負担が軽減されました

★ 利用者情報

H.Nさん 女性(3歳)

滑脳症、神経因性膀胱 / 歩行やコミュニケーションが困難

通っている学校：未就学

利用している福祉サービス：児童発達支援

障害の程度：自立歩行やコミュニケーションが困難/身体障害1級

DFreeを導入した理由は「夜間の導尿タイミングの把握」

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

最初にDFreeを知ったのは、子どものための福祉用具展「キッズフェスタ」のInstagramでした。子どもは自分で排尿することができなくて導尿が必要なのですが、お腹が張りやすいので病院でおしっこやガスなどお腹に溜まっているものを見てもらうことができました。病院では超音波を使ってお腹の中を見てもらっていたので、「家でも超音波の機械が使えたらいいのにな」と思っていました。

そんなときに、ちょうどDFreeのことを知って試してみたいと思いました。



DFreeのタブレットをベッドの近くに設置して使用

★ その時は何に困っていたんですか？

常にお腹の張りを気にしないといけないことに、負担を感じていました。

導尿を適切なタイミングで行わないと、尿がお腹に溜まり続けてしまうのでお腹が張って、筋緊張が起きてしまうんです。筋緊張から痙攣を起こしてしまうこともあります。

おしっこが溜まるスピードはその時々によっても変わります。日中は想像以上にスピードが早いときがあり、気づいたときには筋緊張が起きてしまっていることがありました。

特に、夜間だと隣に寝ていてもお腹の張りや筋緊張にすぐに気づいてあげられないことがあり困っていました。夜間は基本的にはおしっこは作られないので溜まらないんですが、昼夜逆転してしまうと日中と同じように溜まってしまいうんですよね。

★ DFreeを使う上で期待していたことはありますか？

「夜間の導尿タイミングが把握できそう!」と期待していました。

DFreeはおしっこの溜まり具合を音でお知らせしてくれるので、夜間でも緊張が入る前に導尿してあげられるんじゃないかと思いました。

特に、タブレットだと音が大きいので思った通りの使い方ができました。

筋緊張より前に導尿するためにDFreeを利用

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

最初は自力で排尿をしていましたが、生後4か月頃から自力で排尿ができなくなりました。それ以来ずっと導尿を行っています。導尿は1日8回、約3時間おきに行っています。

平日は基本的に私（お母さん）が介助をしていて、児童発達支援施設に通っている間は看護師さんも2、3時間おきに導尿をしてくれます。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

はい。DFreeを使うことで、おしっこの溜まり具合を通知で把握できるようになったことで、夜間の導尿タイミングがわかることが助かりました。

お腹の張りを確認する回数が減ることで、日中の負担感も軽減されました！予想外でした！



肌荒れしにくくて剥がれにくいフィルムテープを使って固定

実際使ってトイレのお悩み軽減の可能性を感じられた

★ DFreeを実際に使ってみた感想としてはいかがでしたか？

DFreeのお試し中に様々な人とDFreeについての話をする中でも、トイレの悩み軽減の可能性を感じることができました。児童発達支援施設にもDFreeを着けて通っていたら、看護師さんが「いいね！」とすごく興味を持ってくれたんです。

子育て中のお友達にDFreeの話をした際は、「トイレに座ることはできるけど、意思表示が難しいという子にも使えそうだね！」と話して盛り上がりました。



装着時に使うジェルが冷たいときは体温で温めてから使用しています

★ 特に、H.Nちゃんのご家族が可能性を感じたポイントがあれば教えてください！

介助をしている中で私自身、DFreeによる負担軽減を実感できたことが大きいです。

また、費用面も最初は心配要素でしたが、港区では自治体の日常生活用具認定が下りているという部分にも現実的な導入の可能性を感じました。今後も自治体のサポートが他の地域にも広がるといいなと思います。

導尿タイミングの把握や、夜間の筋緊張防止にDFreeをご活用いただいているH.Nちゃんのご家族。これからも介助の負担が少しでも軽減されるようにDFreeも応援しています！



DFreeで尿の溜まり具合を把握！ 適切なタイミングで導尿できる

★ 利用者情報

Mさん 男性(6歳)

遺伝子異常/てんかん性脳症/神経因性膀胱

通っている学校：特別支援学校

利用している福祉サービス：放課後等デイサービス、居宅介護

障害の程度：身体障害者手帳1級で寝たきり/療育手帳最重度

おしっこがでにくい時があり導尿のタイミングに悩んでいた

★ これまで、どのようにトイレをしていたのですか？

基本的には**オムツ排尿**です。もともとの病気や薬の影響からか、2年ほど前から自分でおしっこを出すことができない時があり、そのようなときは**導尿で対応**しています。基本的に朝1番のおしっこは出ないので導尿して、昼間はオムツ排尿でした。

★ その時は何に困っていたんですか？

自分でおしっこが出せるときと、なかなか出ないときがあって困っていました。

基本的に昼間は自力で排尿できていますが、体調によっては日中も出づらいことがあり、**導尿するタイミングに悩むことが多かった**んです。導尿は本人にとっては痛みを伴いますし、不要な導尿は感染リスクも気になるのでなるべくしたくない気持ちがありました。ですが、おしっこが溜まりすぎるのも膀胱にとっては良くないので、溜まりすぎないうちに導尿で出してあげたい気持ちもあって。

今すぐ導尿した方が良いのか、もう少し待てるのかわからなくて困っていました。また、自分でおしっこが出せても1回の量が少なく、**残尿があるのではないかと心配**になることもありました。

おしっこの溜まり具合がわかることで安心感につながった

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

疾患児のための情報サイト「ファミケア」でのアンケート企画でDFreeを知りました。

最初はトイレのための機械だというイメージが強かったので、我が家では使うことはできないかなと思っていましたが、導尿に使っているケースがあることを知って興味を持ちました。

おしっこの溜まり具合がわかれば、**導尿のタイミングを図るのに役立つかもしれない**と思い、お試しをすることにしました。



DFreeでどのくらいおしっこが溜まっているかわかります

★ DFreeをどのように使用していますか？

朝の導尿の後に装着して、**学校や放課後等デイサービス**でも使ってもらっています。お風呂の前まではずっとつけていますね。寝る前におしっこが出ていなかったらスポット尿測定をして、溜まっていたら導尿してから寝ています。おしっこが溜まったタイミングでお腹をマッサージすると、自分で出しやすいようで、学校では「そろそろ通知」が鳴ったらお腹のマッサージをしてもらい、排尿できています。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

これまでは**前回の排尿からの経過時間やお腹の張り具合**で導尿のタイミングを決めていて、たまにおしっこが溜まりすぎている時もあったのですが、DFreeがおしっこの溜まり具合を教えてくれることで、お腹のマッサージなど意識的にかかわることができるようになったと思います。

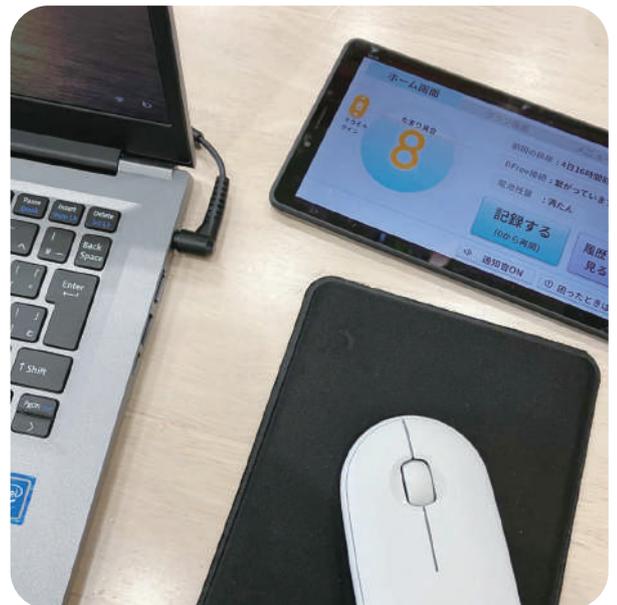
その結果、以前より**昼間の排尿回数が増え、おしっこが溜まりすぎることが少なくなりました**。おしっこが出ないときも必要なタイミングで導尿できるので親子ともに負担感が減りました。学校や放課後デイなど、**親の手を離れているときでも同じように対応してもらえるので安心です**。

客観的な指標ができたことは支援者にも大きなメリット！

★ その他にどのようなメリットがありましたか？

DFreeによって、おしっこの溜まり具合を共通認識できる**客観的な指標**ができたのは、家族以外の支援者の方々にとっても大きなメリットだと思います。看護師さんや学校の先生からも、DFreeの使用がケアに役立っていると好評です。

また、家でDFreeを使用することで**夫が率先してケアに参加してくれる**ようになりました。バタバタと日常を過ごしていると、気づけば前回の排尿から時間が空いてしまっている...ということがあったのですが、今はDFreeがおしっこの溜まり具合を教えてくれるので、夫も気づいてお腹をマッサージしたり、導尿したりしてくれるようになりました。これは思ってもみなかった変化だったので、嬉しかったですね。



DFreeがおしっこの溜まり具合を教えてくれるので
仕事に集中できます

導尿のタイミングをはかることにDFreeをご活用いただいているMさん。おしっこのお悩みが解決し、負担が減って良かったです！



適切なタイミングで導尿ができる！ 感染リスクの軽減や生活の質の向上も！

★ 利用者情報

T.Kさん 女性(37歳)

脊髄損傷/自己導尿

DFreeを導入した理由は「尿の溜まり具合を把握したかったから」

★ DFreeを使ってみようと思った理由を教えてください。

テレビで「介護施設でDFreeを使用している様子」が放映されているのを見て、初めてDFreeのことを知りました。尿の溜まり具合が可視化できると知って、それがあれば導尿のタイミングがわかりやすいかもしれないと思い、個人でも使用できるのか問い合わせをしました。



★ DFreeを使う前はどのくらいの頻度で導尿をしていましたか？

3、4時間おきぐらいに時間を決めて導尿をしていました。

4時間という目安は病院にいる時に看護師さんとお話をして決めたのですが、実際には**場合によっては2時間くらいで導尿することもあります**。例えば水分を多めに摂った時やコーヒーを飲んだ時などは尿が早く溜まりやすいので、そのようなときは早めに導尿していました。

★ 普段の生活の中で、どのようなお悩みを持っていましたか？

時間を決めて導尿していると、**尿が溜まりすぎたり、逆に少なすぎたりということがありました**。

身体の中の水分量って目に見えるわけではないので、同じ時間でも「こんなに溜まっていたの!？」と思う時があれば「そんなに溜まっていないな」という時もある。溜まりすぎると急いで導尿しなければいけないし、逆に導尿したのに尿があまり溜まっていない時もあり、身体的・心理的な負担がありました。

DFreeを使用して、不必要な導尿が無くなった

★ DFreeをどのように活用しているのか教えてください。

自宅にいる日中に使用していて、ホーム画面の尿の溜まり具合をチェックしています。

お知らせ通知の設定は5です。感覚的には「おそらくもっと溜められるかな？」とは思いますが、ギリギリにはならないように、尿の溜まり具合が4か5の辺りで自分の出来るタイミングの時に導尿をしています。

★ DFreeを使用する前と比べて、導尿回数に変化はありましたか？

1日の導尿回数が減りました。今までは、例えば仕事のミーティングなどの予定があると、本来導尿する時間でなくても事前に導尿をしていました。導尿は1回15分くらい時間がかかるので、途中でミーティングを抜けることは難しいのです。今はDFreeで尿の溜まり具合を見て「これならば1時間は大丈夫」など分かるようになったので、安心です。**回数だけでなく「導尿したけどちょっとしか出なかった…」ということも全くなくなりました。**

感染リスクの軽減や生活の質の向上が期待できる！

★ DFreeを使うことで、生活にはどのような変化がありましたか？

導尿のタイミングに悩まなくて済むので、気持ちに余裕ができました。

また、思いのほか尿がたくさん溜まってしまって急いで導尿する時は、導尿前の手洗いや消毒も急がなくてはならず、衛生的に少し気がかりでした。DFreeを使えば、尿が溜まりすぎる前に**余裕をもって導尿をすることができ、手洗いや消毒もしっかり行うことができます。**自己導尿は自然排尿の方よりも感染リスクが高いので、落ち着いて導尿することができるのは衛生面でも安心だと思います。

★ DFreeの使用によって、今後期待していることはありますか？

現在はまだ家でしかDFreeを使用していないのですが、会社でも使用していきたいなと思っています。会社では、漏れる心配がないように水分量をかなり制限しているんです。例えばコーヒー飲むのを我慢するとか、これ以上はもう飲まないようにするとか...そういう制限がDFreeを使用することによって無くなるかなと思います。**飲みたいときに、飲みたいものを飲む生活ができるの良いな**と思います。

導尿のタイミングを掴むことにDFreeをご活用いただいているT.Kさん。生活の質が更に上がると良いですね！



排尿のリズムを継続的に観察することで、 トイレの自立に繋がりたい！

★ 利用者情報

Hさん 女性(6歳)
自閉症スペクトラム/知的障害

通っている学校：支援学校

利用している福祉サービス：放課後デイサービス

障害の程度：単語の理解はできる

トイレに誘導しても空振りすることが多かった

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

時間を決めてトイレ誘導を行っていました。起床時と、学校で2回ぐらい、デイサービスで1回、帰宅後1回で計5回ぐらいは定期的に行っていましたね。

★ その時は何に困っていたんですか？

毎日継続してトイレ誘導はしているけど、半分以上はおしっこが出ず、**タイミングが合わない**ので困っていました。たまにタイミングがあって排尿に成功しても、一度に出す量が少ないことも気になっていて、「**おしっこを膀胱に溜められる力があるのか、ないのか**がわかると良いな」という気持ちもありました。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

布パンツの使用をしてみたこともありました。おしっこで濡れた不快感をわかってくれたらいいなと期待しましたが、あまり効果がなさそうなのでやめてしまいました。

「PECS/ペクス」という絵カードを使用したコミュニケーションも試し始めたところです。自閉症の子は視覚優位なので、ゆくゆくは絵カードを使用してトイレのコミュニケーションが取れるかもしれないと思って試し始めました。

事例記事を読んで「使えるかも!」と感じた

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

夫がDFreeのホームページを見つけて、教えてくれました。尿のたまり具合がわかる機械があることを、その時初めて知りました。ホームページをみたら、**うちと同じような子どもさんの事例記事が載っていて**、「もしかしたらうちの子にも使えるかもしれない!」と感じて、お試しを申し込みました。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

ちゃんとつけてくれるのか心配でした。でも、意外に嫌がらずつけてくれて良かったです。市販の医療用テープを使って固定していたのですが、動いたりするとどうしてもずれたり浮いたりすることがありました。状況に合わせて、付属の装着シートと使い分けでもいいかなと思っています。

使用を続けることで、排尿のリズムを把握していきたい

★ DFreeを使用して困りごとは解決しましたか？

トイレの成功率はあまり変わりませんでした。というのも、うちの子の場合は日中あまり膀胱に尿が溜まっておらず、少しずつ排尿しているみたいで。これは、**尿の溜まり具合を視覚化できるDFreeを使用したからこそ、わかったこと**ですね

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

まずはDFreeの使用を続けることで、**排尿しやすい時間帯や尿の溜まり具合の傾向**が見えてくるといいなと思います。傾向がわかれば、ある程度トイレ誘導する時間帯がわかってくると思いますし、放課後等デイサービスや学校とも共有していきたいです。

将来的には、尿が溜まってきて、トイレに誘導して排尿成功を目指したいですね。

トイレ誘導や尿の溜まり具合の観察にDFreeをご活用いただいているHさん。DFreeを継続して使用することで、排尿のリズムがつかめるようになると嬉しいですね。



DFree導入でトイレトレーニングに大きな変化！ 手探りのケアから介護負担減へ

★ 利用者情報

Iさん 男性(6歳)

自閉症スペクトラム症/知的障がい

通っている学校：特別支援学校

利用している福祉サービス：放課後デイサービス、医療機関での訓練

障害の程度：運動面での障害は無し/発話は無し、絵カード等でのコミュニケーション

正解がわからない手探りのトイレを半年続けていた

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

半年程前からトイレトレーニングを始め、色々試してはみたものの、なかなか上手くいかず手探りの状態でした。障がい児の育児は、努力、気合い、根性！みたいな世界になっているのが日々疑問で、もっと問題解決されていく分野だという気持ちも持っていました。そういった背景もあり、是非新しいツールとしてDFreeを試してみよう!と思ったのがきっかけです。

DFreeの導入でトイレの課題が解決に向かうことを期待し、申し込みました。

★ その時は何に困っていたんですか？

息子は24時間365日オムツを使用しており、排尿の意思表示もなく、排尿や排泄後の訴えも特にありませんでした。定期的にトイレに促していたものの、排尿リズムにムラがあり、適切なタイミングでトイレに連れて行くのが難しい状況でした。

また、学校ではなかなか職員の方に2時間おきにきっちりトイレへ促してもらうというのは、難しいのではないかとこの気持ちもありました。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

他にも、ABA(応用行動分析)を試しましたが、頻繁にトイレに促すことが逆効果となり、トレーニングがうまくいきませんでした。

最初は、発達段階に応じて本人のペースでトイレトレーニングを始めていこうと思い、5歳になるまでは特にトイレトレーニングはしたことがありませんでしたが、就学先を決めるタイミングになり、自然と意識するようになりました。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

デバイスを装着してくれるかどうかが一番の課題でしたが、プレミアムシートの装着を本人が気に入ってくれて、むしろ気に入っている様子でした。おかげでその後の使用も比較的スムーズに進みました。

DFree装着後に人生で初めてのトイレが成功

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

大体2時間おきにトイレへ促すようにしていました。水分をまとめて取るとその分排尿にもムラがあり、トイレのタイミングを合わせるのは非常に難しい状況でした。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

装着した初日に、人生で初めてのトイレを成功できました！

おしっこがない時にトイレに連れていく無駄もなくなり、適切なタイミングで促すことができるようになったことで、**介護者にとっても本人にとっても負担が減りました。**

トイレトレーニングに長期間チャレンジしていく中で、親としての安心感はとても大きいね！と夫とも話をしていました。

| 今後も成功体験を積み重ねていきたい

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

絵カードを使った意思表示の練習を積み重ねて、**最終的にはおしっこが溜まったからトイレに行く！という動線を作っていけたら嬉しいです。**

親や本人の負担を軽減しながら、長い目線でトイレトレーニングに取り組んで行く意味でDFreeの導入はとても助かっています。

トイレのタイミング把握にDFreeをご活用いただいているIさん。今後も無理なくトイレの成功体験が積み重ねられるようDFreeも応援しています！



DFreeで尿のたまり具合を可視化！ トイレに行くタイミングがわかるようになりました

★ 利用者情報

Aさん 男性(6歳)

ソトス症候群/介助があれば歩いて移動が可能

通っている学校：支援学校

利用している福祉サービス：放課後デイサービス

障害の程度：介助があれば歩いて移動が可能/言語理解はかなりあるが、伝えることは上手くできないことがある

DFreeを導入した理由は「本格的にトイレを始めたくて」

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

DFreeを知ったきっかけは、子どものための福祉機器展「キッズフェスタ」です。ちょうど4月から子どもが小学生になって「そろそろトイレを本格的にしないと…」と思っていた時でした。尿のたまり具合がわかるということで、見た瞬間「これは使えるんじゃないか」と思ってお試しをすることにしました。

★ トイレトレーニングをする上で困っていることは何ですか？

尿意を上手く伝えられないことです。言語障害があるため、本人の中では言っているつもりなんだけど、実際には言えていなくて伝わらない、ということがあって。排尿した後に「出た」というサインを出すことができるのですが、出る前に上手く伝えることはできませんでした。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

トレーニングパンツを使っていました。ですが、疾患の影響で身体の発育が早いのでサイズアウトしてしまっていて、今履けるサイズのものがないんです。あと、子どもの発達段階としてもトレーニングパンツはまだ早かったみたいで、成功体験には至らなかったです。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

まずは「Dfreeをつけてくれるのか？」ということですね。「これをつけてくれなかったら無理だな」と思っていました。タブレットを見せたら、もともと数字が好きということもあって反応が良くて。つけるという第一段階はクリアできました。

トイレ誘導にDFreeを利用

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

導入前は時間誘導で、時間を決めてトイレに連れて行っていました。トイレに行って座ってみて、オムツに出ていたら替える...という流れです。

★ DFreeを利用して、お子さんの反応はどうでしたか？

尿のたまり具合が可視化できることで、DFreeと自分の身体がリンクしているということをなんとなく理解できている

と思います。本人にとって、DFreeをつけるのが普通になっていますね。学校に行く時も、本人からタブレットを持っていくと訴えかけてくれて。学校でも使用することができています。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

トイレの完全な成功には至っていませんが、モニターを見て、尿がたまってきたからトイレに行ってみようという意識はもてるようになりました。「モニターが5になったらトイレに行ってみようね」と話したら、5になった時に自分から教えてくれて、トイレに行くことができています。

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

トイレに行くタイミングはつかめてきましたが、うちの子の場合は「トイレで排尿する」ということがまだできなくて。トイレが排尿する場所だということは分かっているけど、オムツ以外に出すということがなかなかできないんです。今後は「**トイレで排尿する感覚**」が分かるようになるといいなと思います。

一度成功すれば、できるようになるんじゃないかと思います。Dfreeがあれば、できるような気がするんです。

膀胱の状態を可視化できることは大きなメリット

★ DFreeを使用して、一番メリットを感じている部分は何ですか？

やはり、**膀胱の状態を可視化できること**です。私は放課後等デイサービスを運営しており、支援者の立場としても「もうすぐ出そう」という尿意を教えるのってすごく難しいと感じています。視覚的にわかるということは、子どもたちが自分の感覚を掴む上でも、とても良いものだと思います。膀胱の状態が見えることやお知らせがくることで、**トイレに悩む家族の気持ちも少し楽になる**んじゃないでしょうか。

トイレ誘導のタイミングを把握するためにDFreeをご活用いただいているAさん。今後「トイレで排尿する感覚」がわかるようになることをDFreeも応援しています！



トイレで排尿するだけが目標じゃない！ トイレが上手くいかない要因を知る手がかりにも！

★ 利用者情報

Sさん 女性(7歳)
脳性麻痺/知的障害

通っている学校：特別支援学校

利用している福祉サービス：放課後等デイサービス、ヘルパー

障害の程度：手引き歩行可能/言葉で意思を伝えることはできる

尿意の訴えはあるけれど、空振りが多くて困っていた

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレトレーニングをしていたんですか？

小学校1年生の時から、学校で2時間に1回くらいの時間誘導と、その他にも本人から訴えがあったときにトイレに連れて行ってもらっています。トイレで排尿が成功するときもありましたが、本人の気分が乗らないとうまくいかなかったり、気分の波による影響も大きかったように思います。

★ その時は何に困っていたんですか？

トイレの訴えはありますが、なかなか上手く排尿できなくて、5回に1回程度しか成功しませんでした。「出る」と訴えがあってトイレに行ったけど出ておらず、**空振り**だったと思ってトイレから戻ると出ていたりすることもある。実際に尿が溜まっているのかもよくわからないし、もう少し待てば良かったのかな...など、**タイミングが把握できなくて困っていました**。

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

疾患児のための情報アプリ「ファミケア」でトイレに関するアンケートに答えたことがきっかけです、最初はなんとなくアンケートに答えてみようかなと思っていたのですが、その内容がトイレトレーニングに関してだったので「まさに今悩んでいることだ!」と一気に興味を持ちました。尿のたまり具合がわかるということで「**これがあれば成功するんじゃないかな**」と思って、試してみることを決めました。

DFreeのスポット測定を利用

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

日常的につけることができるかどうか、心配でした。やはり、自分で外してしまうこともあるので、今はスポット測定をメインで使っています。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

DFreeを使用してトイレに成功した、という段階には至っていません。本人が機械を外してしまうので、常時尿のたまり具合の変化を見ながら誘導することができていないから難しいのかなと思っています。

ただ、スポット測定を利用することで、尿が出ない理由が明確になるかもしれないなと思っています。そもそも尿が溜まっていないのか、尿を出す力が弱いのか...など、**タイミングが合わない要因がわかることを期待しています**。

最終的には、尿が溜まったからトイレに行って、排尿できて...という体験を積み重ねて、本人が尿が溜まっている感覚を理解してトイレに行けたら良いなと思います。

トイレットレーニングに悩む人にぜひ使ってほしい!

★ DFreeを使った感想を教えてください。

DFreeについてお話を聞いたときに、子どもが3歳くらいの時期にトイレットレーニングを頑張っていた頃を思い出しました。本人がまだ尿意もわからず言葉もしゃべれない時期に、すぐトイレットレーニングを頑張っていたのですが、そのころの失敗の記憶が自分の中にも、子どもの中にもすごく印象強く残っていて。「もしあの頃にこんな便利なものがあつたら違っていたのかもな」と思いました。ぜひほかのお子さんにも紹介したいと思います。

スポット尿測定を使用しているSさん。トイレの空振りの要因がわかって、成功体験につながると良いですね!DFreeも応援しています!



DFreeでトイレの空振りが0回の日も! “わかる”ことで介助のストレスが減りました

★ 利用者情報

K.Oさん 女性(12歳)

脳性麻痺/肢体不自由、知的障がい

通っている学校：特別支援学校

利用している福祉サービス：放課後デイサービス

障害の程度：体幹機能障がい(肢体不自由)で立位不可/言語コミュニケーションは簡単な返事程度

DFreeを導入した理由は「トイレの成功を増やすため」

★ DFreeを導入したきっかけは何だったんでしょうか？

最初にDFreeを知ったのは子どものための福祉機器展「キッズフェスタ」のブース出展でした。その時はパンフレットをもらって家に帰ったのですが、**もしかしたらトイレの誘導や介助の際に使えるかも?**と思い、まずはお試しに申し込みました。

★ その時は何に困っていたんですか？

本人が**あまり尿意を感じる**ことができなくて、たとえばオムツが濡れていても不快に感じないんですね。

嬉しい、楽しいなどを声で表現することはできますが、**トイレのコミュニケーションを理解してもらうのも難しいので**、尿の溜まり具合がわかると聞いたときに「もしかしたらこれが使えるかも?」と思いました。

あとはトイレの空振りも多かったので、解決できるといいなと思っていました。

やっぱり、トイレで今したいのかしたくないのか、出るのか出ないのかがわからないのはストレスがかかりますよね。あと、**トイレを待っている時間も苦痛を感じる**ことがありました。

★ DFree以外にも何か改善のためにお試しされたことはありますか？

PTやOTの先生など専門家に相談してみることはあったのですが、だいたい「時間を決めて習慣化」ということになることが多かったので、習慣づけなんだろうな、という印象で時間でのトイレ誘導を頑張っていました。

★ DFreeを使う上で心配だったことはありますか？

マスクや眼鏡でも障がいのある子だと感覚過敏な子どもも多いので、自分で嫌になって剥がしちゃうんじゃないかな、というのは一番最初にありました。ただ、**初回のお試しの時に社員の方が簡単な説明をしてくれて「それならつけられるかも?」**と思ったのでチャレンジできました。

実際に使い始めた後も、位置の調整やそろそろ通知のレベル設定などはサポートいただいています。

介助タイミングの目安にDFreeを利用

★ DFreeを導入する前はどのようにトイレをしていたんですか？

基本的なトイレの方法としては、時間を決めてトイレに連れていく方法をとっています。自宅では、私がいつもトイレに

抱っこで連れていくスタイルで、学校などでも先生が時間を決めてトイレに連れて行って座らせる、ということをしてきています。

おしっこの前と後でも特に知らせはないので、いつおしっこが出ているのかは全く読めない感じでした。たまに動作が止まっていると、あれ？今してるかな？というかんじです。

★ 時間は1日どれくらいでトイレ介助をしていたんですか？

1日にトイレに行く回数は8～9回くらいですね。

タイミングがあえば1日で最高4回ほどトイレが成功する時もありましたが、もうそれは年に数回あるかないか、という程度で。**だいたい1日に1回から2回成功する程度でした。**1回も成功しない日もあります....!

かれこれ13年くらい、トイレについて悩んでいました。

★ DFreeを活用してみて実際に困りごとは解決しましたか？

実は1日で全てのトイレに成功した日があったんです。本当に「そろそろですよ」とDFreeから通知された時に**すぐにトイレにいけば成功するんだな、と感動しました。**

成功率があがったのは一番嬉しいポイントです。

介助しはじめてからも、**トイレに座ってから結構早いタイミングでおしっこができています。**DFreeを利用する前は、トイレに座らせてもおしっこが出なくて「もういいや、またトイレしようね」って立ち上がった瞬間におしっこしてしまって全部服を着替えなければいけないということもよくあって。

全く出ないのであれば切り上げられるし、溜まってればもうちょっと待とうと思えるのは全然体験が違いました。

今後の目標はコミュニケーションしながらのトイレ

★ DFreeを使いながら、今後こうなったらいいな、と思うことはありますか？

いまは自宅はもちろん、学校や放課後デイサービスでも**コミュニケーションをしながら、トイレをできるようになるのが目標**です。

現状はあまり理解をしてないかもしれませんが、「今からトイレに行きます」と声かけをしたり、絵カードやトイレの写真を見せたりしてからトイレに行っています。見通しを立てて、心の準備をさせてから行くよ、という流れでやってみています。

あとは、夏遊びも好きな子なので普通の海やプール、温泉を楽しめるようになるかも、というのは期待しています。オムツのままだと利用ができないことが多いので、そういった遊びも短時間でも楽しめるようになったら嬉しいです。

★ 少しでも尿が溜まっている感覚を理解して、行動範囲も増えると嬉しいです

はい、今はトイレで成功を重ねることでオムツが濡れている時間が短くなり「濡れてるのが不快」という感覚をつけてくれるといいな、と思っています。

DFreeを取り入れることで尿意を感じて、意識できるようになったら嬉しいです。理想は、DFreeがなくても、おしっこしたいと自分からアピールできるところまでいけたらいいな、と頑張っています。

トイレの習慣づけや介助のタイミングの目安にDFreeをご活用いただいているK.Oさん。トイレが”わかる”ことで、行動範囲が増えていたり、トイレを理解できるようになることをDFreeチームも応援しています！

DFreeが、尿のたまり具合を見える化し トイレを事前にお知らせします

DFree(ディフリー)は、
排尿のタイミングを事前に通ずるウェアラブルデバイスです。
超音波センサーを使用して膀胱内の尿のたまり具合を
リアルタイムで計測し、尿意を見える化します。
トイレの介助の負担削減やトイレの促進に活用いただけます。



DFreeができること

✓ 安心な超音波センサーで膀胱を常時モニタリング

お腹の中にいる赤ちゃんを見るときのエコーと同じ安心な「超音波」の状態を見守ります！



✓ 尿のたまり具合を10段階の数値でわかりやすく表示



✓ 排尿のタイミングを通知でお知らせ



ご利用の流れ



D Free

DFree株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目10番9号ラウンドクロス赤坂9階

TEL : 03-5459-1295
MAIL : care@dfree.co.jp
URL : <https://dfree.co.jp/>

専用サイト▶

